

10月イベント紹介

村田だより10月号

藤村誕生日会@月の雫 10月15日(金)

いつもは当社保養所での誕生日会ですが、11日に二十歳になったという事で、特別に飲食店(月の雫)でのお祝いとなりました。このお店には初めて行きましたが、落ち着いた雰囲気のあるお店でした。料理は、どれも美味しく、メインのすき焼きは、柔らかいお肉で口の中であっという間に溶ける様な感じで、食べやすかったです。



記念すべきは、この会でアルコールデビュー！すでに顔が真っ赤になりましたが、リミットもわかり、皆さんの田舎なコミュニケーションも図れ、とても楽しい時間になりました。会の終わりに、記念マカロンをプレゼントしてもらいました。イラストやメッセージがマジパンペーストで描かれたとてもか

わいいマカロンで、食べるのも勿体無いくらいでした。



村田株式会社
Tel. 0835-22-3205

10代色々ありましたが、気が付けば20代に突入です。これからは、自分を高める努力を惜しまず、様々なトラブルなどに巻き込まれないように、また巻き込まれないように気を付けて楽しく悔いのない20代を送ります。

これからのイベントで、会社の皆さんとコミュニケーションが図れるのが楽しみです。とても嬉しい誕生日会になりました。ありがとうございました。

☆二十歳の抱負は、親孝行をするように☆

(ひ)



健康診断@三田尻病院 10月14日
普段、自分自身では分からない部分も多少の検査してもらいました。

昨年の結果(体重増量)に、私は愕然として、食生活の見直しと筋力トレーニングを地道に頑張ってきました。その結果...体重が少しですが減っていたので、「努力は裏切らない」...まだまだ、続けて頑張るぞーと自己管理の意識が高まってきました。

私の嬉しい結果の一方、体重が増えたという社員もちらほら...。

これから食欲の秋を迎えますが、そういった社員の減量も応援しつつ、自らも努力を怠らないようにしたいです。



結果は後日はなりますが、万が一悪い所が見つかった場合は、早急に対処したいと考えています。

何をすることも、健康が一番！気になることは、医師にすぐ相談ができるように、かかりつけ医を持ちたいですね。

また、各自が健康管理をしっかりするように、健康診断の担当者として促していきたいです。(は)



ハッピーハロウィン！悪い魔物を追い払おう！



残念です



残念ながら、今回はベストドレッサー賞の該当者は、いませんでした。。。

10月スタイリッシュDAY

ViDeN公式LINEアカウント
お得な情報を受け取るには
QRコードをスキャンして
「友だち追加」
よろしくお願いします！



デジタルタッチペン寄贈式

@野島小・中学校 10月7日(木)

タブレット端末用のデジタルタッチペン17本を小・中学校に寄贈しました。デジタルタッチペンとは、手書きの文字や図形などを画像データとしてパソコンなどに転送できるペン型の器具です。



式では社長が生徒の代表者にタッチペンを渡した後、防府市教育委員会より感謝状をいただきました。文部科学省のGIGAスクール構想により、児童生徒1人につき1台のタブレット端末がICT(情報通信技術)教育のために導入されており、今回のデジタルタッチペンも学習に役立ててほしいとの思いで寄贈しました。野島小・中学校への寄贈は昨年の月のマスクと今年1月の「天板拡張くん」に続き、3回目です。「天板拡張くん」も「デジタルタッチペン」もたくさん活用し、充実した学校生活を過ごして欲しいです。(く)



草刈りボランティア@野島

10月2日(土)・6日(水)・9日(土)の3日間、社長と有志で野島港そば東屋横の空き地の草刈りを行いました。(2日と9日は社長と社員3名、6日は社長と社員1名)また9日(土)は、宇部市の藤重雅明さんが参加協力して下さいました。

こまめに休憩を取りながら腰の高さまで生い茂っている雑草を草刈り機で刈り取りました。後日、刈り取った草は島民の方が、処分して下さいました。10月になったとはいえ日中は30℃を超える気温の中、作業中はみんな汗だくになりました。暑い中で作業は大変でしたが、雑草を刈り取り、すっかり綺麗になった野島の玄関口を見て、行きかう島民の方々がとても喜ばれ、私たちも嬉しい気持ちになりました。以前は雑草で視界が遮られていましたが、今では海が見渡せて野島の玄関口に相応しい景観を楽しめるようになりました。引き続き、野島を含めて市内の環境美化の為、微力ながら活動を継続していきます。(く)



編集後記 ~桑原~

芸術の秋ですね。私は先日、県立美術館に「古代エジプト展」を見に行ってきました。ミイラの入っていた棺など、3000年以上昔の遺物が多数、展示されていてロマンを感じました。実際にエジプトに行くのは中々難しいですが、少しでも行った気分になれたのは嬉しかったです。これからも色々と吸収していきたいです。

編集委員

藤村・桑原・橋本・西山

